

米国心臓病学会学術集会に参加して

大網同時移植のヒト iPS 細胞由来心筋細胞シート移植に対する有用性の検討



目で見る
海外論文発表

川村 匡*

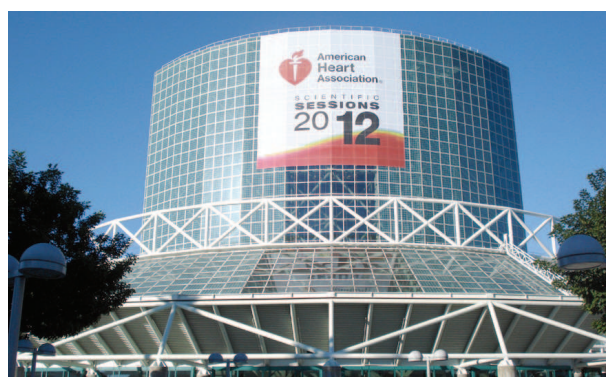
Development of Vascular-Rich Tissue Containing
Cardiomyocytes Derived from Human iPS Cells in Vivo

Key Words : iPS cell, cardiac regenerative therapy, cell delivery system

- <参加会議名> American Heart Association Scientific Session (米国心臓病学会)
- <開催場所> ロサンゼルス アメリカ
- <渡航期間> 2012年11月3日~7日
- <発表タイトル> Development of Vascular-Rich Tissue Containing Cardiomyocytes Derived from Human iPS Cells in Vivo

私はロサンゼルスで11月3日から7日まで開催された2012年米国心臓病学会学術集会 (AHA; American Heart Association) に出席いたしました。ロサンゼルスは11月でも、日中は日本の真夏のように暑い気候でした。AHAは循環器病領域における世界最大規模の学会であります。多岐にわたる循環器分野をCoreとよばれる7つの部門に分けて構成されており、会場が巨大であるにもかかわらず、興味ある分野を重点的かつ効率よく聴講できるよう工夫されています。私の発表はポスター形式で、「心不全に対するヒト iPS 細胞を用いた再生医療」に関する内容でしたが、外国の方からも多くの質問、コメントをいただきました。やはり直接議論することは、自分の研究の意義や反響、問題点などを肌身に感じることができ、大変いい経験でありました。また、世界中で行われている心不全に対する再生医療に関する最新の臨床研究の報告や興味深い動物実験

データなど多くの知見を得ることができ、大変有意義な学会出席でありました。



学会会場



私のポスター発表



ポスター会場風景



*Masashi KAWAMURA

1976年4月生
大阪大学大学院医学系研究科
外科学講座 心臓血管外科
大学院生 心臓血管外科
TEL : 06-6879-3154
FAX : 06-6879-3163
E-mail : masashi.kmura@gmail.com